

研修名	ひきこもり支援実務者連絡会 「北九州市ひきこもり地域支援センター『すてっぷ』 における支援の事例を通して」
話題提供者	北九州市ひきこもり地域支援センター「すてっぷ」 センター長 和田 修 氏
助言者	小倉記念病院 緩和ケア・精神科部長 精神科医 三木 浩司 氏
開催日時	平成31年2月18日(月) 18:30~20:30
開催場所	北九州市総合保健福祉センター(アシスト21) 5階 精神保健福祉センター セミナー室1
参加者数	20名 (内訳:保健師、養護教諭、精神保健福祉士、支援員、相談員など)
研修の 内容等	<p>ひきこもりの問題に関わる支援者が一同に会し、情報交換を行うことで、連携のためのネットワークの構築や互いのスキルアップを目指すことを目的として、連絡会を開催するもの。</p> <p>北九州市ひきこもり地域支援センター「すてっぷ」が関わった事例を提供していただき、内容や支援について参加者の方々にグループ討議を行った。</p> <p>グループ討議では事例についてだけでなく、各機関の役割や支援の中で困難だと感じていることについても共有し、意見を出し合った。</p>
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> • ひきこもり当事者の想いや強みを知り、支援に活かしていくことの重要性を改めて感じました。 • 「継続的な人とのつながり」の必要性を学ぶことが出来ました。 • 「すてっぷ」では、ひきこもり当事者のペースに合わせながら、じっくりと支援されているということが事例提供からも感じる事が出来ました。 • ひきこもり当事者からの話を聞くためには、まず信頼関係を築くことで、本人が話やすい状態を作っていくことが大切だと感じた。 • ただ繋がりを持っておくだけでも、意味のあることだと学んだ。 • 縁が輪ネットワークの存在を知ることが出来てよかった。 • 本人の困り感をどう聞き取り、支援に活かしていくことが大切だと感じた。 • 事例を通し、様々な機関のネットワーク作りが出来ればいいと感じた。